



たすけー自然の道

秋が深まると山々は紅葉を粧い、登山やレジャーには絶好の季節になります。美しい四季の移ろいは天然自然の妙味といえましょう。その一方で、時として自然災害により、私たちはなすけがないときもあります。美しい自然も、厳しい災害も、どのような状況も親神様の精巧なる天然自然の理の中にあり、私たちは生かされています。

私たちの人生においても、晴天のような日ばかりではありません。

おさしづに、

「たすけ一条は天然自然の道、(中略)天然自然の道は、長らえて長く通る事が、天然自然と言う。天然自然の道通るには、難儀な道を通るので、先の楽しみ

と言う。(中略)先々長らえて天然自然の理を待つ。」(明治21年8月17日)と、あります。

天然自然とは、事態を放っておくことでも、我が身我が家の都合を立てることもありません。親神様の理(思召)に沿って、人をたすける真実を尽くすこと。長く年月を重ねて通ること。そして難儀な道こそ先の楽しみであることです。

教祖はたすけ一条の道をみずからお通りになり、私たちに手本(ひな)がたをお残しくださいました。それが「天然自然の道」です。私たちはまず、よろづたすけのつとめ場所であるおちばに心の真実を運ばせていただきます。

本島大教会布教部(宮)



天理教本島大教会